

[96]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2559338>

出版情報：文學研究. 96, 1999-03-30. Faculty of Literature, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

彙報

国語学国文学研究室

講義題目

平成十年度第一学期

国語学

- 講義 国語史概説
- 演習 中世語研究
- 特講 国語史研究の方法
- 演習 国語史資料研究
- 特研 国語史の諸問題
- 講義 日本語音韻史の研究
- 演習 初期万葉の研究
- 特講 日本語音韻史の諸問題
- 演習 日本霊異記攷證の研究
- 特研 漢字資料の諸問題
- 講義 キリンタンの聖書翻訳研究
- 演習 漢字文化圏の訳語・外来語研究
- 演習 バレト写本の研究

- 迫野 教授
- 迫野 教授
- 迫野 教授
- 迫野 教授
- 迫野 教授
- 高山 助教授
- 高山 助教授
- 高山 助教授
- 高山 助教授
- 高山 助教授
- 鈴木 講師
- 鈴木 講師
- 鈴木 講師

演習 漢字文化圏の訳語外来語研究

国文学

- 講義 近世再考 大田南畝
- 演習 鶉衣
- 特講 近世再考大田南畝
- 演習 馬場文耕の作品
- 特研 近世文学の諸問題
- 講義 源氏物語の諸問題
- 演習 伊勢物語
- 特講 源氏物語
- 演習 平安朝文学の文献的研究
- 特研 平安朝文学の諸問題
- 演習 『いはでしのぶ』注釈
- 特講 中古・中世文学の諸問題
- 講義 日本近現代文学研究
(比較社会文化研究科)
- 特講 日本近現代文学研究
(比較社会文化研究科)

- 鈴木 講師
- 中野 教授
- 中野 教授
- 中野 教授
- 中野 教授
- 中野 教授
- 中野 教授
- 中野 教授
- 今西 教授
- 今西 教授
- 今西 教授
- 今西 教授
- 今西 教授
- 辛島 助教授
- 辛島 助教授
- 花田 教授
- 花田 教授
- 花田 教授
- 迫野 教授
- 迫野 教授
- 迫野 教授
- 迫野 教授
- 迫野 教授

特研	国語史の諸問題	迫野	教授
講義	日本語音韻史の研究	高山	助教授
演習	初期万葉の研究	高山	助教授
特講	日本語音韻史の諸問題	高山	助教授
演習	日本霊異記放證の研究	高山	助教授
特研	漢字資料の諸問題	高山	助教授
講義	キリシタンの聖書翻訳研究	鈴木	講師
演習	漢字文化圏の訳語・外来語研究	鈴木	講師
演習	バレット写本の研究	鈴木	講師
演習	漢字文化圏の訳語外来語研究	山田	講師
(書道) 第一			
臨講	テンス・アスペクト体系とテクスト	工藤	教授
	(大阪大学)		
	国文学		
講義	近世再考 大田南畝	中野	教授
演習	鶉衣	中野	教授
特講	近世再考大田南畝	中野	教授
演習	馬場文耕の作品	中野	教授
特研	近世文学の諸問題	中野	教授
講義	源氏物語の諸問題	今西	教授
演習	伊勢物語	今西	教授
特講	源氏物語の諸問題	今西	教授
演習	平安朝文学の文献的研究	今西	教授
特研	平安朝文学の諸問題	今西	教授

演習	『いはでしのぶ』注釈	辛島	助教授
特講	中古・中世文学の諸問題	辛島	助教授
講義	日本近現代文学研究		
	(比較社会文化研究科)	花田	教授
特講	日本近現代文学研究		
	(比較社会文化研究科)	花田	教授
臨講	言語に関する言説(明治期)の研究	亀井	教授
	(北海道大学)		
	人事異動		
	三月三十一日 中村恵助手辞職		
	学会・研究室行事		
	○九州大学国語国文学会(一九九八年六月七日 於九州大学)		
	式亭三馬の出版活動について	バーバラ・クロス	
	西村定雅小考	田辺	菜穂子
	近世歌学史における「遠慮の詞」		
	—「つつ」「かな」留りを中心に—	盛田	帝子
	聖堂祭酒の日々―『閑斎日乗』から―	若木	太一
	『文筆問答抄』について		
	—『三教指帰』との関連をめぐって—	大石	有克
	月の桂は紅葉するののか	木戸	裕子
	『伊勢物語』二十三段を読み直す	吉田	達
	授与動詞「クレル」の視点制約的用法	宅間	弘太郎

文相当句を承るナレバ・ナレド(モ)について

『葉名備考和訓抄』小考

矢毛達之
田籠博

西南部九州アクセントの成立について

―屋久島アクセント再考―

木部暢子
(九大関係者のみ)

○第四八回 西日本国語国文学会

(一九九八年九月二六・二七日 於活水女子大学)

〈公開講演〉 写案跡追

中野三敏

〈研究発表〉 賀茂季鷹伝の諸問題

―少年時代を中心に―

盛田帝子
(九大関係者のみ)

○国語学会平成一〇年度春季大会

(五月三〇・三一日 於白百合女子大学)

中世室町期における「動詞連用形十ゴト」構文について

青木博史

(九大関係者のみ)

○国語学会平成一〇年度秋季大会

(一〇月一七・一八日 於九州大学)

天理図書館蔵『狂言六義』の条件句

―ホドニとヨッテを中心に―

松尾弘徳

薩隅方言におけるラ行音・ダ行音の変異について

―肥筑方言を参照しつつ―

崎村弘文

○日本近世文学会平成一〇年度秋季大会

(一〇月三一日・十一月一日 於広島大学)

写本『比売鑑』をめぐる

勝又基
(九大関係者のみ)

○語文研究 第八十五号(一九九八年六月)

母の祈り―枝折型姥捨伝説の歌に関する考察―

大木桃子
藤島綾

『闕疑抄初冠』考

一九の創作姿勢に関する一考察

―享和期の読本と黄表紙を題材として―

康志賢
舒志田
越智隆伸

九州方言の動詞の活用
迫野虔徳

○文献探求 第三十六号(一九九八年三月発行)

江東部集注(一)

『扶桑名勝図』考―九大本を中心に―

木戸裕子
川平敏文
勝又基

〔翻字〕九州大学図書館蔵『伊勢物語注』（仮称）

九州大学蔵抄物目録（Ⅱ）

吉丸志穂
青木博史

中国文学研究室

講義題目

平成十年度第一学期

中国語学

演習 古代漢語

演習 中国語会話

演習 中国古典語文法理論

中国文学

特講 楊貴妃文学史研究

演習 仇兆鰲『杜詩詳注』

演習 洪昇『長生殿』

特研 中国語学・中国文学の諸問題

演習 中国古代文学名篇

演習 中国文学批評史

演習 中国明清小説研究

（比較社会文化研究科）

演習 『顔氏家訓』講読

平成九年度第二学期

合山教授
柳川助教

中国語学

演習 古代漢語

演習 中国語会話

演習 中国古典語文法理論

中国文学

特講 楊貴妃文学史研究

演習 仇兆鰲『杜詩詳注』

演習 洪昇『長生殿』

特研 中国語学・中国文学の諸問題

演習 中国古代文学名篇

演習 中国文学批評史

演習 中国明清小説研究

（比較社会文化研究科）

演習 『顔氏家訓』講読

臨講 中国現代文学史

（大阪外国語大学）
柳川助教
是永教授

学会・研究室行事

○中国文芸座談会

第一七二回（平成十年一月二十四日）

古文運動のまぼろし―欧陽脩を手がかりとして―

東英寿

六朝貴族文人の怯懦と虚栄

第一七三回（三月十四日）

岡村繁

趙飛燕像の変遷—漢代から唐代を中心に—

井上明子

霓裳羽衣の実態—西涼婆羅門曲を出発として—

北添友子

白行簡の伝奇小説について—『李娃伝』を中心に—

本村紀子

応璩『百一詩』名義試解

駱野玉明

第一七四回 (五月二日)

明刊元雜劇『揚州夢』の南戯化について

王展

袁枚女弟子の詩作について

蕭燕婉

陳氏継志齋と『綴白裘合選』

根ヶ山徹

第一七五回 (七月四日)

白居易の江州左遷と『詩集』十五卷

—その実態と編集の意図—

静永健

陳煥『玉獅堂十種曲』の主題思想

陳美雪

第一七六回 (九月十九日)

五代史平話の成立—『講史書』との関係—

岡村真寿美

王維の心制詩について

入谷仙介

第一七七回 (十一月二十八日)

隋煬帝故事研究—『艷史』の成立と展開について—

河野真人

清乾隆期に於ける文人伝奇の道德化

—蔣士銓の作品を通して—

王毓雯

『紅樓夢』と葉—薛宝釵と冷香丸の関係をを中心に—

垣見美樹香

○平成十年度九州中国学会大会

(平成十年五月十六日・十七日 於大分県立芸術文化短期大学)

明刊元雜劇『揚州夢』の南戯化について 王展

袁枚女弟子の詩作について 蕭燕婉

○一九九八年度中唐文学会

(平成十年十月九日 於専修大学)

『白氏文集』に於ける『詩経』の非諷論的受容について

諸田龍美

○『中国文学論集』第二十七号 (平成十年十二月発行)

押韻法から検討した『楚辞』九辯篇の成立時期

野田雄史

宋人尚淡理論内質及成因之考究

汪涌豪

欧陽脩研究論著目録稿—(887-1986)

東英寿

日付から考察した前後「赤壁賦」の主題について

—特に「後赤壁賦」に焦点をあてて— 正木佐枝子

明刊本元雜劇『揚州夢』の南戯化について

王展

明清時代における西廂故事の流伝について

—伝奇から民歌俗曲へ— 黄冬柏

(訳注)『長生殿』訳注(二) 竹村 則行

英語学英文学研究室

平成十年度前期

英語学

稲田 教授

特研 講義 言語学概論

演習 文法論

生成文法入門

論文演習

機能的構文論

英作文

英会話

英語学

戦争詩

講義

演習

演習

演習

演習

演習

演習

演習

演習 William Shakespeare, *King Lear* テイラー 教師

Edward Bond, *Lear* "

William Empson, *Seven Types of Ambiguity* "

アメリカ文学

特研 American Lit., History, Culture & Thought

原口 教授

講義 Faulkner and Race Problems

演習 Mark Twain's Satire on Humanity

Mark Twain: *A Connecticut Yankee at*

King Arthur's Court 研究

アメリカ文学史上の基本的諸問題

Nineteenth Century American Fiction (言語文化部) 高橋 助教授

Harriet Beecher Stowe, *Uncle Tom's Cabin* ショーンズ教師

Harriet Beecher Stowe, *Uncle Tom's Cabin* "

Harriet Beecher Stowe, *Uncle Tom's Cabin* "

平成十年度後期

英語学

演習 機能的構文論

演習 英作文

演習 英会話

演習 英会話

演習 英会話

演習 英会話

英 文 学

特研	イギリスモダニズム文学研究II	園 井 教 授
”	”	鞆 助 教 授
講義	イギリス形而上学詩研究	園 井 教 授
”	ジョン・キーツとフイリップ・ラーキン	”
演習	テニスン研究	園 井 教 授
”	James Joyce: <i>Ulysses</i> 研究II	鞆 助 教 授
”	George Eliot: <i>The Mill on the Floss</i> 研究	”
”	Joseph Conrad: <i>Heart of Darkness</i> 研究	”
”	William Shakespeare, <i>Richard III</i>	テイラー 教 師
”	Thoman Middleton, <i>The Revenger's Tragedy</i>	”
臨講	中世及びエリザベス朝演劇 (大阪大学) 広 瀬 講 師	
	アメリカ文学	
特研	American Lit., History, Culture & Thought	原 口 教 授
特講	God and Nature in American Literature	”
講義	19世紀アメリカ文学における神と自然	”
演習	John Updike: <i>Rabbit, Run</i> 研究	”

演習 William Faulkner: *As I Lay Dying* 研究

”	Kate Chopin研究 (言語文化部)	原 口 教 授
”	Postwar American Fiction	小 谷 教 授
”	Twentieth-Century American Drama	ジョーンズ 教 師
”	Theodore Dreiser: <i>Sister Carrie</i>	”

人事異動

十月一日 松元助手、長崎大学教育学部へ講師として転出。

学 会 ・ 研 究 室 行 事

日本英文学会第51回九州支部大会研究発表	中 野 康 子
英語の二次述語と出来事構造	田 中 雅 子
Howards Endにおける精神主義と肉体性	”
アストロフィルの自己実現―ある心理学的解釈―	杉 本 美 穂
ジェイン・オースティンの後期作品に見られる回顧的視点	井 原 美 和 子
“Big Two-Hearted River”における「再生儀式」	”
再考：空間及びイメージを中心	中 村 嘉 雄
キーツにおける「苦痛」の表象	”
—Lamiaを中心に—	宮 本 朋 子

南部白人の「混血」恐怖症

—ジョー・クリスマスを中心に『八月の光』の一考察—

河崎 妃 奈

S.T. コールリッジの後期の詩における記憶と現実

—“Youth and Age”を手がかりとして— 園 田 暁 子

野性の痕跡

—Thoreauのインディアンへの夢— 山 田 久 美

Tender Is the Nightにおける白痴への憧憬

—F. Scott Fitzgeraldの作品に見るinnocenceの行方—

山 崎 英 司

シェイクスピアにおける森

—なぜJacquesは森に残るのか— 道 行 千 枝

学会・研究室行事

○「九大英文学」四十一号（1998年12月）

『お気に召すまま』の森

—その役割と意味— 道 行 千 枝

Alchemy and Poetic Redemption in Donne's Songs

and Sonnets Miho Sugimoto

“Youth and Age”: Coleridge's Later Poetic Achievement

Akiko Sonoda

Austen's Symbolic Voice in Mansfield Park: Irony

and Poetry Miwako Ihara

Reforming Dramas: A Study of Byron's Historical Dramas Kei Nijibayashi

Lamia—誘惑と破壊のアイロニー 宮 本 朋 子

Pip's Slight in Great Expectations Atsuko Yamaguchi

Howards Endにおける肉体的な奪取 田 中 雅 子

「個」と他者の溶解

—“The Hollow Men”の語りの変容 古 賀 美穂子

Symbols in Thoreau's Transcendental Quest

計算された失敗 Kumi Yamada

—『ハックルベリー・フィンの冒険』の結末部小考

—『ハックルベリー・フィンの冒険』の結末部小考

—『ハックルベリー・フィンの冒険』の結末部小考

—『ハックルベリー・フィンの冒険』の結末部小考

Theodore Dreiser and Labor of the Age 原 口 遼

Tender Is the Nightにおける「白痴性」 山 崎 英 司

“Big Two-Hearted River”: 空間及びイメージについて

の分析心理学的一考察 中 村 嘉 雄

南部を支配する「血」の類型

—『八月の光』ジョー・クリスマスの物語—

Vladimir Nabokov's The Gift: Fictionalization of

Nostalgia 河 崎 妃 奈

Temporality and Slant Light in Edward Hopper's

Sunlight in a Cafeteria Noriko Sunakawa

Temporality and Slant Light in Edward Hopper's

Sunlight in a Cafeteria Ryo Haraguchi

英語の二次述語と出来事構造

中野 康子

○Kyushu American Literature 三十九号 (1950年11月)

Mark Twain's Double Vision: The Meaning and the Function of the Phelps Farm Episode in Adventures of Huckleberry Finn
Ryo Haraguchi

独文学研究室

講義題目

平成十年度第一学期

独 語 学

演習 ドイツ語基礎演習

池 田 教授

” Deutsch 1. Stufe (Umgangssprache) オオコウチ教師

” Deutsch 2. Stufe (Umgangssprache) ”

” Deutsch 3. Stufe (Literatur) ”

独 文 学

講義 トーマス・マンⅢ

池 田 教授

特講 トーマス・マンⅢ

” ”

演習 ミュンヘン・モデルネⅡ

” ”

” ドイツ十九世紀ロマン研究

” ”

” 二十世紀短編小説研究

” ”

演習 『ファウスト』研究Ⅲ

池 田 教授

特研 Kolloquium

”

演習 Literatur-Seminar

オオコウチ教師

” 世俗化理論の歴史的展開とその諸相 (言語文化部)

新保 弼彬 教授

” J. M. R. レンンの劇作 (”)

津村正樹助教授

” ”

宗宮好和助教授

臨講 ドイツ語意味論概説 (千葉大学)

” ”

平成十年度第二学期

” ”

独 語 学

演習 ドイツ語学の基本問題

池 田 教授

演習 Deutsch 1. Stufe (Umgangssprache)

オオコウチ教師

” Deutsch 2. Stufe (Umgangssprache)

” ”

” Deutsch 3. Stufe (Literatur)

” ”

独 文 学

講義 トーマス・マンⅢ

池 田 教授

特講 トーマス・マンⅢ

” ”

演習 ミュンヘン・モデルネⅡ

” ”

” 二十世紀短編小説研究

” ”

” 『ファウスト』研究Ⅲ

” ”

特研 Kolloquium

” ”

演習 Literatur-Seminar

オオコウチ教師

演習 世俗化理論の歴史的展開とその諸相

(言語文化部) 新保弼彬 教授

演習 J. M. R. レンツの劇作

() 津村正樹助教

臨講 バベルの塔の物語

(愛媛大学) 安藤秀國 教授

臨講 R. ヴァーグナーの「総合芸術」——理論形成と作品

(熊本大学) 杉谷恭一 教授

学会・研究室行事

○「西日本ドイツ文学」第9号(平成九年十一月発行)

ヘルダーリンの『唯一者』における Vatar 像

田野 武夫

カール・クラウスの言語論における「根源」思想

—ヴァルター・ベンヤミンへの影響を手がかりに—

堺 雅志

書評・カール・フォン・リンネ著『神罰』小川さくえ訳

池田 紘一

○「かいろす」第35号(平成九年十二月発行)

レゾ・カラシユベリ「小説の導入部—移り身の魔法」

(重竹芳江訳)

○日本独文学会第四十回文化ゼミナール

(平成十年三月二十二日から二十八日まで)

於 アートランド・ホテル(蓼科)

Apokalypse im Kulturgedächtnis

小黒 康正

○九州大学独文学会第十二回研究発表会

(平成十年四月二十五日 於 九州大学)

自己と他者の間

—日独語対照・他動詞の再帰的用法の違い

嶋崎 啓

ベルリンの日本研究所及び東京の日独文化協会

設立準備に於ける鹿子木員信

葉 照子

受動の詩学

—ヘルダーリンとフィヒテ哲学

田野 武夫

『魔の山』—作者を形成する身体

中島 邦雄

○日本独文学会1998年度春季研究発表会

(平成十年六月六・七日 於 中央大学)

感傷と解体する身体

—ジャン・パウル『ヘスペルス』について

嶋崎 順子

○アライダ・アスマン教授(コンスタンツ大学)講演会

(平成十年四月六日 於 九州大学)

○ゲルハルト・シュティケル教授(マンハイム・ドイツ語研究所所長)講演会(平成十年四月十一日 於 九州大学)

○日本独文学会西日本支部ドイツ語教育会第四回研究発表会(平成十年七月四・五日 於 大分コンパルホール)

ドイツにおける日本語教育の現状と展望

—日本語教師の採用条件について— 小黒康正

○日本独文学会西日本支部ドイツ語教育会

第二回「インターウニ西日本」講師

(平成十年九月三日から七日まで)

於 国立大学九重共同研修所) 小黒康正・堺雅志

○日本独文学会1998年度秋季研究発表会

(平成十年十月十七・十八日 於 関西学院大学)

シンポジウム・ビュヒナー研究の現段階

「レンツ」と精神病理学 池田 紘一

○「九州ドイツ文学」第十二号(平成十年十一月発行)

Apokalypse - Erinnerung - Allegorie 小黒康正

ドイツ・ロマン派における運命悲劇の系譜とクレメンス・

ブレンターノの『ロザリオのロマンス』能木敬次

身体としての『魔の山』 中島邦雄

第一次大戦後の日独関係修復過程における

文化交流史の一側面 —鹿子木員信をめぐって—

葉 照子

民衆本『不死身のジークフリート』

『ザクセンシュビーゲル・封建法』

(石川栄作訳)
(古賀允洋訳)

仏文学研究室

講義題目

平成十年度第一学期

仏語学

演習 *Entraînement à la dissertation*

” *Dissertation littéraire*

仏文学

特講 演劇とテクスト

演習 修辞学

” デュマ『三銃士』

” モリエール『ドン・ジユアン』

特講 NRF 研究

演習 20世紀文学批評論

” 20世紀小説論

特研 テクスト分析の諸問題

演習 クローデル『東洋の認識』

アンス 教師

アンス 教師

末松 教授

末松 教授

末松 教授

末松 教授

吉井 助教授

吉井 助教授

吉井 助教授

吉井 助教授

アンス 教師

演習 20世紀フランス小説 アンス 教師

〃 現代批評研究 (言語文化部) 森茂太郎助教授

平成十年度第二学期

仏語学

演習 *Entraînement à la dissertation* アンス 教師

〃 *Dissertation littéraire* アンス 教師

仏文学

特講 演劇とテキスト 末松 教授

演習 修辞学 末松 教授

〃 デュマ『三銃士』 末松 教授

モリエール『ドン・ジユアン』 末松 教授

特講 *NRF* 研究 吉井 助教授

演習 20世紀文学批評論 吉井 助教授

〃 20世紀小説論 吉井 助教授

特研 テキスト分析の諸問題 吉井 助教授

演習 ボードレール『小散文詩』 アンス 教師

〃 20世紀フランス小説 アンス 教師

〃 現代批評研究 (言語文化部) 森茂太郎教授

臨講 ジャン・ジュネ論 (一橋大学) 鶴飼 哲 教授

学会・研究室行事

○1998年度 日本フランス語フランス文学会 春季大会
(於 成城大学 5月30日・31日)

・歴史記述メタフィクションの詩学

——「現実素」と「因果律」—— 岩松 正洋

・ドリユ・ラ・ロシエルの『夢みるブルジョワジー』

松尾 剛

・ドレフェス事件とアンナ・ド・ノアイユ 白土 康代

○1998年度 日本フランス語フランス文学会 秋季大会

(於 大阪大学 10月24・25日)

・ヴェルレーヌ『雅な宴』における「幸福」岡 由美子

○九州フランス文学会「フランス文学論集」第32号

(1997年11月)

・セリーヌの三つの「バガテル」 木下 樹親

・アンドレ・ジイドの創作日記における登場人物の創造 安積 みづの

・アルベール・カミュの『幸福な死』を巡って 栗国 孝

○九州フランス文学会「フランス文学論集」第33号

(1998年11月)

・ある批評のトポスの形成

——「縮小された修辞学」について 末松 壽

・ジイドの青年期の「日記」と

『アンドレ・ワルテルの手記』 安積 みづの

○「ステラ」第17号（1998年6月）

・ La baguette, la loupe et le râteau Pascal Mercier
(Deux lettres inédites de Valéry Larbaud à André Gide)

・ L'avènement d'un poète: Francis Ponge en 1942

Shinji Iida

・ L'inspiration biblique dans les tragédies

franciennes (1674—1691)

Mitsuko Yanagi

・ フランス語の再帰的代名動詞と中立的代名動詞

井口 容子

・ 18世紀の権力空間論—『演劇に関するダランベール氏への手紙』をめぐって—
阿尾 安泰

・ 駱駝、悪魔、女

—カゾット『恋する悪魔』考—

森 茂 太 郎

・ 『アルマンヌ』における主人公像の造型
高 木 信 宏

・ 反復とへ新しいもの—ボードレールの「旅」における nous の多数化

三吉野 滋 樹

・ ヴェルレーヌ・サチュルニア

—処女詩集のタイトルをめぐって—

岡 由美子

・ ベルナノスのふたりの聖人—ドニサン神父とアンブリクールの司祭—

野村 知佐子

・ 臨床医と香具師の想像力

—セリーヌのパンフレ(2)—

木下 樹 親
池田 和 隆

・ 異世界の表象における固有名現実素 岩 松 正 洋
・ J. E. リオタール『マルローと署名せし者』 畑 亜 弥 子

・ M. コロー『マチエールII エモーション』 飯 田 伸 二

・ M. ダンブル編『ドリユ、作家にして知識人』 松 尾 剛

・ 楊張若名『ジッドの態度』をめぐって 吉 井 亮 雄

○1998年度日本比較文学会秋季九州大会

(於 筑紫女学園大学 12月5日)

・ 特別講演

十七世紀フランスの演劇論—ドビニャック、ミメーシス、

記号論— 末 松 壽